

空知総合振興局における農福連携の推進に向けた取組 ～岩見沢地域を中心とした取組～

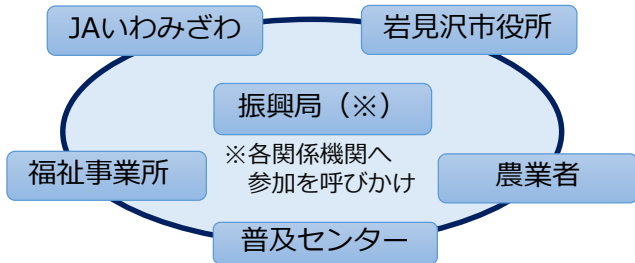
◎取組の経緯（きっかけ）

空知管内では、個別に農福連携に取り組む農業者と福祉事業所はいるものの、地域的に取り組んでいる事例は少なかった。

このため、振興局が令和2年度に管内で就労継続支援事業所が一番多い岩見沢地域で、他地域への取組の波及を目的に、関係機関が参画して農福連携を推進する取組を開始。

※独自事業「空知総合振興局人材定着・労働力確保推進事業」のメニューの一つに「農福連携」を設定

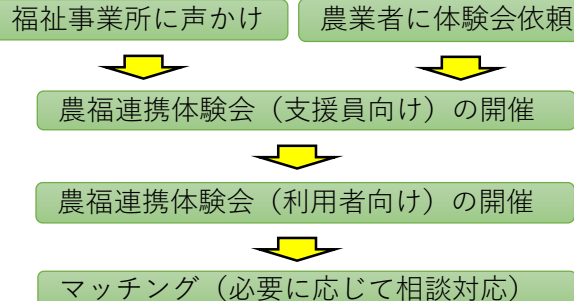
岩見沢地域の農福連携関係機関



◎取組内容

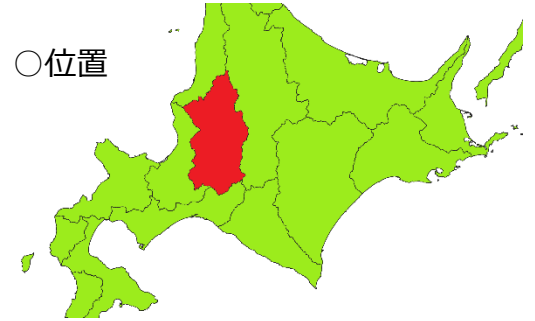
- ◆空知総合振興局農務課主催で農福連携のマッチング等に向けた取組を実施
- 農業と福祉の関係者による意見交換会の開催
- 就労継続支援事業所向け農作業体験会の開催
- 就労継続支援事業所に対し、農福連携の取組意向調査の実施
- 本事業により取組を開始した農業者の見学
- 農作業体験会を踏まえた関係者検討会の開催
- 空知管内全体向けセミナーの開催

農福連携マッチングの流れ



空知地域の概略（10市14町）

○位置



○農業データ
経営形態
水稲、小麦
野菜、花き等

○福祉データ
A型福祉事業所
20か所
B型福祉事業所
87か所
(振興局管内)
※令和4年12月31日現在

◎成果と課題 □：成果、■：課題

- JAいわみざわのひまわり部会との取組は、契約に至った例も出てくるなど、部会内で農福連携の取組が広がってきている。
- 農福連携体験会をきっかけに、新たに農福連携に取り組む予定の福祉事業所が出てきた。
- さらなる農福連携の取組拡大に向けて、関係機関との協力・連携体制の強化が必要である。
- 取組を継続していく中で、仕事内容や賃金の不満が出てくる場合があるため、農業側と福祉側で円滑なコミュニケーションが取れるような関係づくりが必要である。



ブルーベリーの収穫作業を行う就労継続支援事業所（B型）の利用者